



# まつざき真琴 県議会ニュース

日本共産党

2014年  
11月16日号  
臨時議会特集

発行／日本共産党鹿児島県議団  
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977  
E-mail [kengidan@jcp-kagoshima.com](mailto:kengidan@jcp-kagoshima.com) HP <http://jcp-kagoshima.com>  
Facebook ページ『日本共産党鹿児島県議団』への 「いいね!」をお願いします。



11月5日から7日まで臨時議会が行われまして、その内容をご報告いたします。ご意見やご要望をお聞かせください。

## 住民無視の暴挙!

**川内原発** 自民党や公明党などの数の力で再稼働を容認する採決  
これを受けて、その日のうちに、再稼働に知事「同意」

### まつざき真琴県議のコメント

川内原発再稼働について審議を行えば行うほど、再稼働に道理がないことが明らかになりました。火山噴火の予知ができない、避難計画が実行性が全くない、住民の理解が得られていない問題など、このような状態で議会が判断することは許されません。しかしながら、自民党・公明党などの数の力で押し切られ再稼働を容認する採決がなされました。その日のうちに、知事は「再稼働についてはやむを得ない」と会見しました。予定されていた県議会の日程を無視し強引に臨時議会を招集し、このような形で、県議会に結論を迫りその日のうちに、判断を行うなど住民無視の暴挙と言わざるをえません。

まだ適合審査は途中です。実際に再稼働を行うのは九州電力です。引き続き、川内原発の再稼働をストップさせるため全力を尽くします。



7日、討論するまつざき真琴県議

今回の臨時議会は、伊藤知事が川内原発の再稼働について賛否を問うため強引に招集しました。まつざき真琴県議は知事に対し、臨時議会の招集に抗議するとともに、再稼働へと急ぐ知事の姿勢を厳しく批判しました。

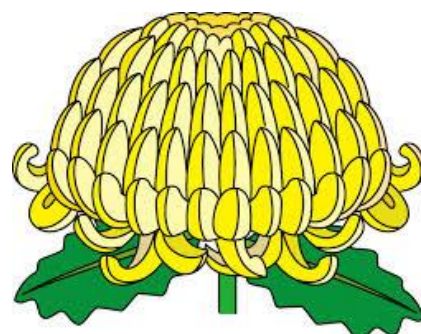
議会冒頭、臨時議会開会を全会派に相談もなく「密室協議」で決めた責任は重大だとして、議長らの不信任決議案が提出され、まつざき県議も賛成討論しましたが、否決されました。

伊藤知事が、臨時議会に対する報告で「原子力規制委員会により安全性が確認されたものと考えている」とのべると、傍聴者からは「強引だ」「県民の安全を守れ」と怒りの声があがりました。

質疑では全会派が知事の見解をただしました。伊藤知事は、「安全性は確認された」「住民説明会での理解はおおむ

ね得られた」と繰り返しました。

まつざき県議は、規制庁が「審査は終わっていない」と明言していることや、9月に避難計画が大きく変更されたのに住民は説明を受けていないことを指摘。「住民は納得していない。知事はなぜ結論を急ぐのか」とただしました。日本火山学会の提言をうけ、「火山噴火の対応について、適合審査のやり直しを要請すべきだ」と迫りました。



裏面に続きます